

(9) 逆紹介率

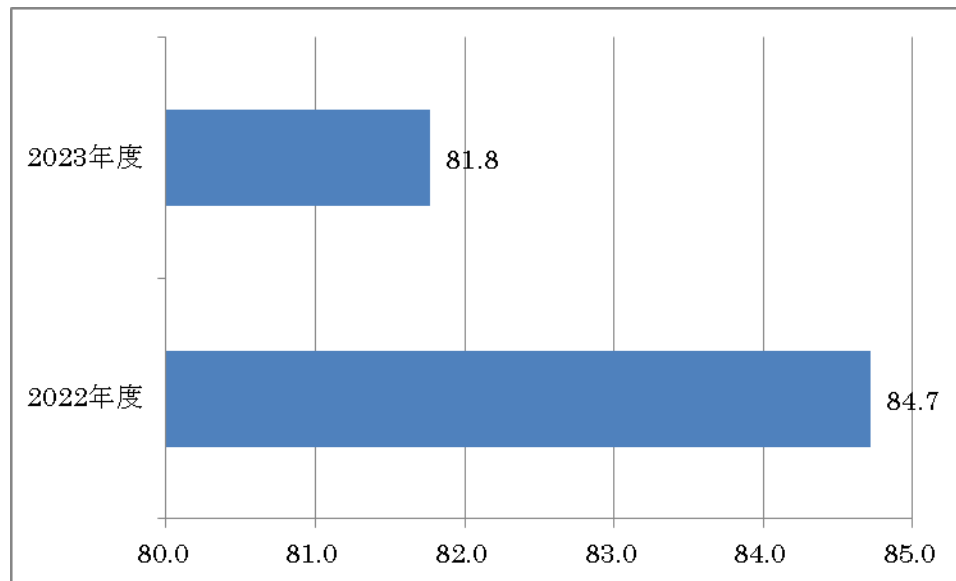
【指標の説明】

・逆紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関へ紹介した患者さんの割合を示します。

各医療機関がそれぞれの特長を活かし、地域で患者さんを支える医療を提供する必要があります。そのためには、各医療機関が役割に応じた診療をおこなう必要があります、地域の医療機関同士の連携が極めて重要となります。

逆紹介率を算出することにより、当院で治療を終えた患者さんを、地域の医療機関（かかりつけ医）へお送りする度合いを示していますので、地域連携の指標として非常に重要になります。

※2022年度診療報酬改定により、紹介率指標の算出方法が変更になったため、2022年度からの数値を掲載しています。



【定義】

$$\frac{\text{逆紹介患者数}}{(\text{初診}+\text{再診患者数})} \times 1000$$

・グラフの単位 % (パーミル：1000分の1を1とする単位)